



副議長  
産業厚生委員

酒見 喬

# 産廃処分場建設に伴う振興策は十分に果たせるか

酒見

## 100%できなくても地元の要望を中心に必ずやる

町長

**Q** 振興策に対しての町の計画はどのように考えているか。

**A** 総務課長 地域振興策の総事業費、23億8,400万円は起債及び国からの補助金や交付金等に対応できると考えている。そのうちの起債についての8億3,400万円は過疎債でその70%は交付税に算入され、利息については交付金等で十分対応できると考えている。

**Q** 町で取りまとめた振興策と、県が提示している振興策には大きな隔たりがあるように思うが大丈夫か。

**A** 住民課審議員 当初、町の計画の中には地元振興策と言えないものも含まれていた、そのよ

うな中、地域の要望が多いのは

通学路の整備、農業用施設の整備及び地元公民館の建設などの声が多い、そのような要望を踏まえ、県とも協議をしながら着実に進め、全力を注いでいきたい。

**おひ** 産廃処分場建設については県の発案から基本協定に至るまでの紆余曲折と苦悩は計り知れない。そのような中での振興策ゆえ、地元をはじめ、その建設には十分な配慮が必要である。と共に町の財政健全化の維持は絶対に守らなければならない。

**Q** 町内の空き家や廃屋の実態数の把握、またそれらの現状をどのよ



うに考えるか。

**A** まちづくり推進課長 平成22年9月から調査していないが、その時点では空き家165件、空き店舗6件、廃屋30件ほどある。その中には利用可能な物件も130件あり利用できる物件については、なるだけ利用の方向で進めていきたい。

**Q** 廃屋等の撤去費用の助成等の対策は考えていないか。

**A** 総務課長 基本的には所有者の責任で撤去するのが基本だが、放置されている所が多く、防犯、防災、安全性の観点から、所有者に撤去勧告また撤去費用の助成など今後十分検討していきたい。

**おひ** 今後、少子高齢化の増加に伴い空き家の増加は避けられない。しかし、放置すれば環境悪化ばかりか、防犯、防災など懸念される。所有者による撤去が基本だが条例等の制定による対策も必要となるであろう。



# 境田 乗合タクシーの導入は

## 鋭意検討している

住民課長



委員 文教総務  
委員 広報

### 境田敏高

**Q** 平成21年10月には、瀬高駅から南関上町間の路線バスが廃止され、大牟田・植木線（杉本から八田間）は早くから廃止になっている。いつからか。

**A** 総務課長 大牟田・山鹿地区を通り坂下三ツ角から菊水を通って山鹿に行く路線。廃止されたのが昭和48年です。次に荒尾・南関線は平成4年10月に廃止。これは荒尾から杉本、田原、坂下三ツ角を通り南関に来る路線です。大牟田・南関線（田原経由）、は平成12年10月に、廃止されている。

**Q** 路線が廃止された時点、またその後の住民の移動対策はどうなっているか。

**A** 総務課長 大牟田・南関から庄山までを委託運行でその対策を講じている。瀬高・山鹿線は、外目地区の路線バスが廃止されたもので、何ら対策を講じていない。過去の昭和48年の大牟田・山鹿線、荒尾・南関線も、現在、何ら対策を講じてない。

**Q** 庄山線に委託料を出すなら、田原線、外目線についてもその時点で同じように取り組むべきではなかったか。

**A** 総務課長 町の交通手段をどうすべきか、全体的な構想の中から考えていくものと考えている。

**Q** 人口減少などによる利用者数の減少に伴う路線バスの補助金は、平成23年度3,233万4千円だった。路線バス補助金の10年間の推移はどのよう



路線バスが廃止された県道大牟田・植木線

**A** 総務課長 平成14年度が1,521万円だった。約10年間で2倍以上になっている。

**Q** 南関町の路線バス負担額は7路線で、町民1人当たりで計算すると、負担額は2,290円、その中の一つ、庄山線は町民1人当たりの負担額960円、町負担は1,037万7千円とになっている。負担しているのに路線バスがない、公平な福祉向上を進めるべきではないのか。

**A** 町長 今後の高齢者等の交通手段の確保は、予約制タクシー、既存のタクシー助成事業の緩和、福祉バスの拡大等、いずれの手段が南関町に合った交通手段かを十分検討していきたいと考えている。

**Q** 路線バスがあってもバス停までが非常に遠い。不便地域はどの地区にもある。バス停まで何キロかの状況把握が大事だ。そのために不便地域、空白地域の設定を設け、早めの改善、対策を打ち出すのが緊急課題と思うが。

**A** 副町長 私のほうはバス停まで、2キロぐらいたいが、久重あたりになると、もつ

と不便な状況だろうと思う。いかに住民の交通手段を確保するかは町の大きな課題であるので検討したい。

**Q** 荒尾市では今年10月に3路線のバス廃止と同時に新たに乗合タクシーの導入が予定されている。行き先、運行ルートは予約に応じた方式を導入するとしている。交通空白地帯解消のためにも、交通弱者はもとより、誰でも利用できる予約制乗合タクシーを導入すべきだと思うが。

**A** 総務課長 バス路線の補助金の増加と利用者の減少を考えると、乗合タクシーが有効な手段だと考えられる。住民の意見、アンケートにより、今後検討していきたい。

**※** 交通システムの構築は人の移動手段だけではなく、まちづくりに繋がる。公平な福祉向上を目指すためにも、新しい交通システムに取り組みべきである。



産業厚生委員  
議会運営委員  
広報委員

田口 浩

## 町の介護施設は大丈夫か

田口

### 福祉課長 防火対策の徹底を指示した

**Q** 二月八日長崎市介護施設で火災が発生し十名の死傷者が出た。町にも公共施設一ヶ所、民間企業四ヶ所あるがどの様になっているか？

**A** 福祉課長 町内は公共施設一ヶ所、グループホーム三ヶ所、小規模多機能ホーム一ヶ所がある。

どの施設も設置義務はないが、今後、国・県の臨時特例基金があり補助金があるので早急に設置するとの事。

**Q** 第一小学校の通学路で、福山から向石油にかけての高速道下のボックスが狭いので危険、対策は？

**A** 教育課長 現在福山地区は二名が通学しているが、六年生と五年生

で、一人が中学生になるので今年は一人名となる。第一保育園の方から登下校するように学校側と打ち合わせ済み。

**Q** 北開地区の児童の登下校は南関インターより宮ノ前地区にかけて途中狭い所もあるし、急な階段があり危険ではないか？

**A** インター近くに以前県知事が植樹された檜ノ木が密生しており、

どの様に対処されるか？

**A** 教育課長 この地区は県の管轄の為に玉名振興局と打ち合わせをして早く対処していきたい。

**Q** 建設課長 県土木課に尋ねたら、「業務名は南関大牟田北線道路美化対策委託ということで二月に入札が終わり、工期は三月二十九日までに終わる予定になってい

かならないか？

観を損ねている。どうにかならないか？

**A** 建設課長 県土木課に尋ねたら、「業務名は南関大牟田北線道路美化対策委託ということで二月に入札が終わり、工期は三月二十九日までに終わる予定になってい

る。広い方の森は間伐、西側の狭い方は全部切っ

**必ず** 通学路問題は毎回質問されている。生徒たちが安心・安全に登下校出来るよう早急に取り組むべき。



宮ノ前地区の通学路



蘇った白秋の森





産業厚生委員  
広報委員

**打越潤一**

## 緊急経済対策による町の予算は **打越**

### 農林水産業費に1億6,600万円、 土木費に7,000万円の追加 町長

**Q** 国・県の24年度補正、25年度予算により、当町が受ける予算の内訳はどうなるのか。

**A** 町長 補正予算では、地域の元氣臨時交付金、地域経済活性化雇用創出臨時交付金が新たに創設された。この交付金の創設を受け、本町では補正予算の中に農林水産業費に、1億6,600万円、土木費に、7,000万円の追加予算を計上している。平成25年度当初予算においては、地方公務員の給与、国家公務員と同様に策定することを前提に、地域の元氣づくり事業が新設されている。

堰、中野堰、大場のポンプの設計委託料。工事費は、1億4,400万円、これは山中、中野、井堰の井堰工事、大場地区の水中ポンプ取り換え、県営南関東地区の土地改良事業負担金の1,000万円、建設課関係の道路点検委託料で、道路の路面、トンネル、法面等の調査委託で7,000万円

が国の経済対策臨時交付金、元氣臨時交付金の対象としているものである。

**Q** 熊本県公共関係と管理型最終処分場建設に伴う環境保全協定締結に

**A** 町長 町の代表として保全協定を締結し



米田区の中野堰

**Q** この保全協定の前に産業廃棄物の審議会が3回行われた。会長が町長に答申して、町長が県に出された、その内容をお願いしたい。

**A** 住民課審議員 熊本県環境整備事業団が南関町に設置予定の産業廃棄物処理施設（管理型最終処分場）事業。平成24年12月14日設置許可申請の事業に関する意見。

たからには、県や事業団が常日頃から言われている、安全・安心な施設の建設、将来にわたり県が責任を持つという言葉をしっかりと履行していただくよう地元住民の皆さん方とともに、あるいは、住民の先頭に立つて監視していくことが町の責務と考えている。特に、安全推進委員の立ち上げにつきましても、しっかりと

環境アセスメント方法書段階、準備書全の見地からの意見を提出し、いずれも具体的な事業者見解が示されると共に、熊本県知事意見が出されて、最終的な評価書が作成されている。しかしながら、いくら説明や報告を受けても地元住民の心配の種がつきないのも事実である。このような状況を踏まえた上で、上記内容を着実に履行すると共に、事業者に

対しては、平成23年8月9日に締結した熊本県公共関係と産業廃棄物管理型最終処分場に係る基本協定書第3条に基づき、将来に亘り孫、子の代まで地域の生活環境を保全し、地域住民の安全・安心を確保するために取り付け道路工事の早期着工や廃棄物受入態勢の確立などの万全の策を講じると共に、今後予定されている環境保全協定書の締結や監視委員会の設置についても、地元住民の意向を十分に反映したものとした上で法令等を遵守することを第一に責任をしっかりと果たすよう強く求める。

以上のような意見書を県のほうに提出させていただきますました。

**必ず** 安全・安心な施設の建設を望み、住民の安全・安心を守る歩道整備、取り付け道路の早期着工、安全推進委員会のメンバーの早期取り組みを要望する。

唐杉

# 学力向上のための目標管理は

## 週指導計画案に添って 努力している

教育長



委員 委員 委員 委員  
文書 文書 文書 文書  
総務 総務 総務 総務  
会議 会議 会議 会議

### 唐杉純夫

**Q** 中学校学力は小学校学力の延長である。カリキュラム、週案の実施を含めどのような目標管理をしているか。

**A** 教育長 教育委員会で学校管理規則を規定しており、地方分権化によって市町村独自の管理規則を作成することになった。教育委員会は週指導計画案によって管理すること、校長にそれを委任している規定がある。校長がすべて教員に教育実践内容について計画を立てさせ、計画通りに実践されているのか。その学年で終わらなければ次の学年にということがある。絶対ならぬことになっている。

**Q** どのように消化できているか。また、チェックの方法をどうしているか。

**A** 教育長 年に1回教育委員会は学校訪問し、諸帳簿閲覧を全部行っている。校長、教頭は月1回提出を求め、修正の必要となった週案は記録を取りチェックを行っている。その辺の業務は校長の裁量に委せてあるようだ。これが教育委員会の立場である。

**Q** 週案は、これからは各学校単位できちんと指導すると約束している。今の答と違うと思うか。

**A** 教育長 約束の結果として管理規則に規定したわけである。計画通りにその週で出来なかった授業については、その反省を担任は書き込んで次の週で再計画をし直して実施しなければならない。のであるから、1年間ではきちんと終わらせないといけないことになっている。



**Q** 例えば、3年生の数学でいうと、教科書249ページのもの、188ページしか消化されていない。2年生では195ページのもの、120ページ、1年生では263ページのもの、151ページ。と惨憺たる状況である。英語も同じような状況である。

**A** 教育長 数学の場合、教科書と「数学の友」という問題集と基本カードの併用でやってきている。テスト範囲はこれら

**Q** 例え、3年生の数学でいうと、教科書249ページのもの、188ページしか消化されていない。2年生では195ページのもの、120ページ、1年生では263ページのもの、151ページ。と惨憺たる状況である。英語も同じような状況である。

**A** 教育長 今後検討させてもらいたい。

**Q** 週案は公開できないのか。

**A** 教育長 小中学校の学力と塾の存在意義

**Q** 小中学校の学力は塾の存在に支えられていると思うが、塾に行っていない生徒をどのように支えているか。

**A** 教育長 小中学校の学力は当然学校教育に負うところが中心になるべきものである。学力向上研究協議会の授業で学校自身の努力、切磋琢磨、それに加えて最近スタートしている学校応援団事業、放課後のこども教室あたりまで保護者の方も含んで〇付け隊というような形で応援して頂き、こどもたちを励ましてもらっている。その結果、小学校が頑張ってくれて中学校も学力が上がってきたと評価している。先生たちが頼りないので塾に支えられていると捉えられたのか、この通告内容には驚いた。県教育委員会が毎年通塾調査をしている。学習塾に通っている小学生4名、中学生4名で合計である。いかに塾の影響が少ないかわかるであろう。それだけ先生たちが今頼りにしている姿が出てきているのではないかと思う。

**※** この数字は答弁後、休憩を挟んで、あとで小学生24名、中学生53名に修正された。しかし、この小中学生各4名という数字がベースとなっており、答弁されている以上、学力向上に対する塾の役割についてまともな回答とはなっていない。さらには学力テストの得点分布にも問題があると思っ



## 環境保全協定を締結

3月4日、南の関うから館に於いて、本町と県、(財)県環境整備事業団との間で公共関与産業廃棄物管理型最終処分場に関する環境保全協定書の調印がなされました。蒲島知事、村田(副知事)県環境整備事業団理事長、上田町長が協定書に署名、押印されました。協定書には処分場に起因して周辺地域の生活環境に影響を及ぼした場合、責任は県が負うと明記され、蒲島知事は「地元敬意を表すと共に全国のモデルとなるよう安全性を高め、将来にわたって県が責任を持つ」と約束、上田町長は「町民に不安と心配を掛けた、安全性を第一に地域振興策を」と要望、村田理事長より、今年の夏ごろ着工し、平成27年秋の完成を目指すことの説明がなされました。

18年3月に南関町が候補地に決定してから7年、今年夏には面積約3ヘクタール、埋立容量約42万立方メートル、工事費約52億円、埋立期間15~20年の処分場建設がいよいよ始まることになりました。

## 総務文教常任委員会

3月26日(火)

### 通学路の安全点検

本委員会では大石教育課長、嶋永係長、大木建設課長と共に、町内各校区の小中学校通学路の安全確保について巡回点検を行いました。各学校区の中から危険度の高い道路を中心に点検を行い、合計20カ所で道路状況、車両の通行状況等の点検を行いました。危険箇所は以前から指摘されている箇所ですが、用地の確保、費用、管理主体等の問題で改善が進まない状況です。他にも多くの危険箇所があり、標識、カーブミラーの設置が必要と思われる箇所がありました。委員会では特に急ぐべき箇所として5箇所を選定し、早急に改善するよう町に要望することと致しました。委員会で選定した箇所は次のとおりです。



荒尾消防署南関分署前付近

- 1 小校区：県道南関・大牟田北線、インターチェンジ手前の道路、スピードを出した車が多いのに歩道がない。
- 2 小校区：県道大牟田・南関線の久重落合地区、精米所付近100メートル程は歩道もなく非常に狭い。  
県道荒尾・南関線の杉本交差点付近、一般道としても喫緊の課題。
- 3 小校区：国道443号線の山崎ショップから野菜畑付近にかけては歩道が狭く、縁石も低い。
- 4 小校区：県道玉名・八女線の鬼王地区の道路は交通量が多く見通しがよくないのに歩道がない。

以上5箇所は児童の通学にあたり危険性が特に高いため、管理主体である国、県に対し強く要望する必要がある、一刻も早い改善が望まれます。



### ◀表紙の紹介(竜瀬橋を歩く新入生)

4月12日、南関第一小学校(生徒数144人)の歓迎遠足が行われました。第67回の入学式を終えたばかりの新入生27人が6年生のお兄さん、お姉さんに手をつないでもらい、農就センターまでの道を楽しみました。

今年度、本校は校長先生を始め5人の異動がありましたが、赴任されました坂本ひふみ先生は昭和22年創立時の初代(石井辰子)校長以来、歴代二人目の女性の校長先生です。

# 議会日誌

2~4月

主なものを載せています

- 2月4日(月) 広報調査特別委員会
- 7日(木) 総務文教常任委員会
- 7日(木) 広報調査特別委員会
- 14日(木) 全員協議会
- 21日(木) 全員協議会
- 27日(水) 総務文教常任委員会
- 28日(木) 議会運営委員会
- 3月8日(木) } 3月定例議会
- ~15日(金)
- 26日(火) 総務文教常任委員会
- 4月11日(木) 広報調査特別委員会
- 19日(金) 広報調査特別委員会

## Topic! 1

### さようなら 南関第一保育園



南関第一保育園の閉園式が3月23日に行われました。4月から南関こどもの丘保育園に統合されましたが、これで町営すべての保育園が統合されたことになりました。同園は昭和27年に南関町保育園として開園、昭和49年に現在の場所に移転されました。開園以来、本年度の卒園児12人を含め、60年の間に3,514人の園児を送り出してきました。閉園式では園児60人と保護者や職員が別れを惜しみ、園児たちは「大好きだった思いでいっぱい保育園、さようなら」と別れの言葉を述べ、合唱を披露しました。式後には開園当初からの記念写真がスクリーンに映し出され60年の歴史を振り返っていました。最後に園児全員と保護者らで風船を空に飛ばし、園に別れを告げていました。

## Topic! 2

### 大津山山頂に 記念植樹

「エイライフなんかん」の記念植樹に家族で参加しました。昨年7月の設立を記念して大津山



山頂に桜とツツジの苗木、それぞれ4本、30本を30人ほどの参加者の方達と一緒に植えました。子どもたちが大人になる頃には町の方から山頂に咲く桜の花を見ることが出来るでしょう。どのような眺めになるのか楽しみです。大津山一帯は南関町のシンボルであり、桜、ツツジの季節には町外からの見学者も多く、休日には駐車場確保に苦労するほどになりました。親子で自然と触れあひながら遊べる貴重な町の財産です。昨年はイヤバル溜池から鳥獣供養塔までの町道沿いのボランティア植樹に家族で参加し、アジサイ、シヤクナゲなどを植えました。夏になり、アジサイの花が咲いていたのを見たときは本当に気持ちが良いものでした。このような取組みが子どもたちのよき思い出となり、家族愛、郷土愛が育まれる元になるのではないのでしょうか。

(関町 大石 祐治さん)



**編集** (広報調査特別委員会)  
 委員長 打越 潤一  
 副委員長 井下 忠俊  
 委員 田口 浩  
 委員 鶴地 仁  
 委員 境田 敏高  
**発行責任者**  
 議長 本田 眞二

「今の若いものは」とよく言われますが、このような人たちもいるんだなと感心させられたものです。また今月初めの陶器梅まつりの日には、町へ進出されている企業の方々が2、3人の組に分かれて、ゴミ拾いをされているのを見かけました。開会式出席のために急いでいたのですが、この企業かは聞けませんでした。心が温まる風景でした。皆がちょっとした気持ちでポイ捨てをやめればと思いつつその場を去りましたが、本当にいい日だったと感じたものです。

最近ではゴミ拾いのゲームもあるそうで、一人一人がゴミを拾い持ち帰り、計量して多くを集めた人が勝ちになるそうです。すばらしいゲームを是非南関町に。

(田口)

## ティーブレイク

編集後記



ある日曜日、大牟田へ出掛ける途中、南関インター近くでヘルメット(自転車用)をかぶった20代前半の若い男女グループがゴミ拾いをしているのに気付きました。車を止め、どこの方達ですかと尋ねたら大牟田のボランティア団体ですと答えられました。また、集まったゴミは軽トラに積まれていました。これから荒尾方面へ移動すると言われ、私は「ありがとう」とお礼の言葉を述べ別れましたが、本当に感動しました。